

## ルワンダ国月報（2015年2月）

### 主な出来事

#### 【内政】

●24日、カガメ大統領は、ハビネザ・スポーツ・文化大臣に代えて、ウワチュ氏を新大臣に任命した。

#### 【外政】

●3日、現在400名以上の元M23戦闘員が西部県及び東部県のキャンプに収用されており、コンゴ（民）及びルワンダ政府代表は、コンゴ（民）民の自主的帰還の促進に向けた協議を行った。

#### 【経済】

●17日、ルワンダ中央銀行総裁は、2014年のルワンダの経済成長率は、当初の見込みよりも高い6.8%と発表した。

※以下はルワンダの英字日刊紙「The New Times」の記事を取り纏めたもの。

#### 【内政】

##### ・英雄の日

1日、ルワンダ国内外にて、Heroe's Dayを祝うセレモニーが行われ、マクザ上院議長ら政府関係者は、レメラのHeroes Mausoleumで献花を行った。(2日)

##### ・国際電気通信連合（ITU）事務総長のルワンダ訪問

4日、3日間の予定で当地を訪問中のホーリン ITU 事務総長は、カガメ大統領を表敬訪問し、成長と開発を促進するための一助としてのルワンダのICTに対するコミットメントに対して賞賛した。(5日)

##### ・スポーツ・文化大臣の交代

24日、カガメ大統領はハビネザ・スポーツ・文化大臣に代えて、ウワチュ氏を新大臣に任命した。右任命は、ムレケジ首相が署名したコミュニケの中で発表された。ウワチュ大臣は、自分を信頼してくれたカガメ大統領に感謝する、国に奉仕することを完全に約束すると述べた。同大臣は2008年から国会議員を務め、議会では外交・協力・安全保障常任委員会の副委員長を担った。国会議員になる前はニャビフ郡の経済開発担当副郡長であった。ウワチュ氏の入閣により、内閣における女性の割合は36%から40%に増加した。(25日)

##### ・郡長選挙

25日、逮捕や個人的理由で職を辞したため郡長不在であった5つの郡、カロンギ郡、ニャマシケ郡、ルシジ郡、ガサボ郡及びガツィボ郡で選挙が行われ、それぞれ新郡長が選ばれた。任期は、2016年3月に行われる選挙までの期間である。(26日)

#### 【外政】

##### ・大湖地域情勢（元M23戦闘員の帰還問題）

3日、コンゴ(民)及びルワンダ政府代表はキガリにて、M23元戦闘員の自主的帰還の促進に向けた協議を行った。400名以上の元M23戦闘員が西部県ギソブ及び東部県ゴマのキャンプに收容されている。マトゥブカ・コンゴ(民)国防副大臣は記者に対し、ルワンダ関係当局及び国際社会が自主的帰還を促進するよう促すことが重要である、コンゴ(民)政府は恩赦法を公布しており、元戦闘員の一部は既にその恩恵を受けていると述べた。他方、恩赦法は、自らの国に対し武器を取った者には適用するが、人道に対する罪を犯し国際法で問題を有する者は容赦されないと説明した。ルタバナ・ルワンダ国防省次官(大佐)は、コンゴ(民)政府代表団と元M23戦闘員のリーダーの面会をアレンジし、また、回収した武器及び装備を示したと述べた。帰還に関するデッドラインは設けられていない。ルタバナ次官は、これは自発的なプロセスであり、「可能な限り早く」としか言えないが、帰還を望む者は明日にも帰還することが出来、恩赦法の恩恵を得ることが出来ると述べた。(4日)

#### ・UNESCO アフリカ教育サミット

9日及び10日に、キガリで開催されるUNESCO-Africa regional conferenceに出席するため、教育のためのグローバル・パートナーシップ(GPE)の議長であるオーストリアのジラード前首相がキガリを訪問した。同会議には、アフリカ諸国10ヶ国から政府関係者らが参加する。(9日)

#### ・コンゴ(民)東部情勢

(1)10日、カバレベ国防大臣は、ルワンダ解放民主勢力(FDLR)は軍事的にはもはやルワンダにとって脅威ではないが、ルワンダ人の間にジェノサイド・イデオロギーを広めようとする戦略は、ルワンダのみならず地域全体にとって治安上の脅威となる可能性があるとして述べた。また、同大臣は、FDLRを20年間も匿ったことについてコンゴ(民)を非難し、コンゴ(民)はルワンダの治安など気にしていないようであると述べ、国際社会は対FDLR軍事作戦開始について強いステートメントを出しているにも拘わらず未だ何もしておらず、軍事作戦が取られるとは考えていないと述べた。(11日)

(2)12日、ムシキワボ外務・協力大臣は、国会の外交・協力・安全保障常任委員会において、FDLRに対する軍事作戦の遅れの理由は、一部の国際主体(international actors)による「安っぽい政治活動(cheap politicking)」だと述べ、国際レベルでの政治家の陰謀により何も始まらないことを責め、これらの者はルワンダの発展の土台を壊すことを狙っていたが失敗したため、FDLRのような武装組織を代わりに利用していると述べた。また、最新の報告は、MONUSCOはコンゴ(民)国軍への支援を一時中止したと伝えているが、そもそもMONUSCOは作戦を開始したとは発表しておらず、何をもって中止と言っているのかと述べた。同大臣は、名前は伏せつつも、複数の政治家がルワンダの平和と安全保障を弱めるためにテロリスト組織を利用しているとも述べた。(13日)

(3)駐ルワンダ米大使は、我々は、(対FDLR軍事作戦は)今開始されるべきであり、右はコンゴ(民)国軍及びMONUSCOの共同作戦であるべきと考え、そのための支援も提供してきた、我々はまた、同軍事作戦は一度開始されたら持続的且つ包括的でなければならない

と言ってきており、コンゴ(民)東部の情勢不安はコンゴ(民)だけでなく、ブルンジ、ルワンダ及びウガンダといった地域全体に影響を及ぼすものであり、我々は本件に関する圧力を継続する旨述べた。(16日)

#### ・北部回廊サミットの延期

10日、2月中旬に開催が予定されていた北部回廊サミットは3月7日に延期になった旨、北部回廊統合プロジェクトコーディネーターが発表した。(11日)

#### ・ケニア・ルワンダ関係

19日、カガメ大統領は、ケニアのナクル郡ナイバシャのオルカリア地熱発電所の竣工式に出席し、ケニヤッタ・ケニア大統領のリーダーシップを称賛し、140MWの同地熱発電所は、ケニアを含めた近隣諸国に恩恵をもたらすことができる旨述べた。(当館注：右案件は、我が国の対ケニア円借款による事業。)(20日)

#### ・カガメ大統領の第11回国際電気通信連合 (ITU) 出席

パリにて27日、第11回電気通信連合ブロードバンド・コミッション会議が開催され、カガメ大統領は、ボコバ・UNESCO事務局長と共同議長を務めた。同会議は、UNESCO・モバイルラーニング・ウィークと平行して開催され、ブロードバンドを用いた女性のエンパワーメントに焦点を当てる。(28日)

#### ・日本映画祭

25日から3日間、ゲーテ・インスティテュートにて日本映画祭が開催される。小川日本大使は、日本の映画産業には100年以上の歴史があり、世界で4番目に大きい規模である旨述べた。(28日)

### 【経済】

#### ・東アフリカ・キャピタル・マーケット会議

(1) 12日及び13日、キガリにて、第1回東アフリカ・キャピタル・マーケット会議が開催される。「Capital Markets East Africa 2015: Accelerating Economic Development」と題した同会議は、300の国内外の専門家が集い、ルワンダ政府、IFC及びキャピタルマーケット東アフリカが共催で開催する。(2日)

(2) 13日、世銀の民間セクター融資機関の国際金融公社 (IFC) は、初のオフショア・ルワンダ・フラン建て債券を発行することを発表した。500万米ドルの3年債券は、シティバンクグループとスタンダード銀行の決済を介し、5人の国際投資家により購入された。(14日)

#### ・8.5MWの太陽光発電所稼働

4日、ルワマガナにおいて、8.5メガワット (MW) の太陽光発電所の稼働が開始される。インフラ省によると、これによりルワンダ全体の発電量は156MWとなる。同施設は、2,370万米ドルをかけてGigawatt Global社が1年がかりで建設した。(4日)

#### ・5億米ドルの農業支援

3日、ンサンガニラ農業担当国務大臣は、米国拠点の慈善団体であるハーワードG・バフエット財団が、10年間で最大5億米ドルをルワンダの農業開発に投資することを発表した。干ばつ対策、灌漑施設、生産性向上プロジェクトに投資される見込み。同財団は、ルワンダの他のいくつかのプロジェクトにも投資を行っている。(4日)

#### ・水道代の支払い電子化

2日、ムソニ・インフラ大臣は、2013年は1,050億RWF相当分の水代金が支払われておらず、使用料金の回収率を上げるために、水・衛生公社(WASAC)は電子支払いシステムを導入することを発表した。(4日)

#### ・第11回開発パートナーズ・リトリート

4日、5日の2日間、ルバブ郡で第11回開発パートナーズ・リトリートが開催され、政府関係者、ドナー国、援助関係者、民間セクター、NGO関係者が参加した。ガテテ財務・経済計画大臣は、1994年以降の支援に感謝を述べるとともに、持続可能な成長のために、直接投資の増加の必要性を説いた。(5日)

#### ・観光業の収入3%増加

ルワンダ開発庁(RDB)は、2013年7月から2014年6月までの観光客数は117万人、収入は2.97億米ドルであり、前年比3%増加したことを発表した。(5日)

#### ・ドイツの対ルワンダ支援(地方分権化促進支援)

9日、ルワンダ及びドイツ政府は、ドイツがルワンダの地方分権化及びグッド・ガバナンスの促進を支援する700万ユーロの二国間贈与協定に署名した。署名は、ファーレンホルツ当地大使及びガテテ財務・経済計画大臣が行った。右贈与は、かつてルワンダ地方開発支援基金(RLDSF)として知られていた地方行政機関開発局(LODA)を通じて支出される。また、贈与された資金は、生計向上、並びに、学校、支線道路及び市場等の経済インフラの整備にも用いられる。(10日)

#### ・1月のインフレ率

10日、ルワンダ国家統計局(NISR)は、1月のインフレ率が前年比1.8%増だった旨を発表した。(11日)

#### ・4G LTEの値下げ

11日、インターネットサービスの小売業者であるISPAと、卸売業者のOleh Rwanda Networks(ORN)は、4G LTEの値下げを発表し、これにより1ギガバイト4,100RWFから、68%減の1,300RWFに値下がりがした。前年10月に4Gが開始されてから、(高価格のため)まだ1,000人しか利用者がいない。ンセンギマナ青年・ICT大臣は、ブロードバンド普及率が10%増えるごとに、ICTセクターのGDPに対する割合は1~1.5%増える旨述べ、インターネットの重要性を強調した。(13日)

#### ・ルワンダ航空、キガリールサカ間の直行便開始

ルワンダ航空は、3月27日からキガリとザンビアのルサカ間の直行便の運航を開始することを発表した。月・水・金はキガリ発、火・木・土はルサカ発の直行便が運航される。(17

日)

#### ・ルワンダ中央銀行の2014年の金融政策及び金融安定性

17日、ルワンゴムブワ・ルワンダ中央銀行総裁により開催された報告会によると、2014年の第1四半期(1月-3月)のGDP成長率は7.5%、第2四半期(4月-6月)は6.1%と減速したが、第3四半期(7月-9月)は7.8%と持ち直した。また、同総裁は、好調な成長は、サービスセクター(10%の成長)、農業セクター(6%)、工業セクター(4%)に牽引されたものである旨述べた。新規承認された融資は、前年比38.2%増で、2013年の前年比マイナス5.3%と比べて、大幅に改善した。しかし、商業銀行の貸出金利は平均17.2%と高く、マネ当地国連常駐調整官は、高い金利は高い債務不履行を引き起こすことに繋がり、持続可能な成長のために考慮しなくてはならない点である旨述べた。融資申請不承認の割合は2013年の13.2%より増加し17.4%となった。不承認率の高いセクターは鉱業セクター(68%)であり、次に農業・漁業・畜産セクター(58%)である。他方、商業及びホテル(41.62%)、公共投資(21.09%)が融資申請承認の大半を占めている。(18日)

#### ・独外務大臣訪問

シュタインマイヤー・ドイツ外務大臣に率いられて当地を訪問していたビジネスマン、学者、議員、ジャーナリストを含む50人で構成されたミッションは、22日に2日間の視察を締めくくった。ムシキワボ外務・協力大臣との合同記者会見において、シュタインマイヤー大臣は、ルワンダの経済見通しは合理的であり、また、中所得国へと成長する高い目標を掲げていることを称賛するとともに、投資を考える際、市場規模は重要な問題だが、ルワンダはEAC国の域内統合により1億4,000万人の市場として捉えることができ、十分ドイツ人投資家を惹きつけることが出来る旨述べた。ムシキワボ外務・協力大臣は、ドイツのアフリカ大陸での存在感の強化に言及し、欧州諸国からはフランス、ベルギー、英国がアフリカに深く関与しているが、ドイツも重要な国である旨述べた。(23日)

#### ・東部県、新道路の工事開始

24日、キガリールスモ間を結ぶ29kmの新しい道路の工事が開始された。7億ルワンダ・フラン(RWF)が投資され、6ヶ月間で工事は終了する予定。(26日)

#### ・世銀のルワンダ経済アップデート報告書

昨年、世銀は5.7%、ルワンダ政府は6%と2014年の経済成長率を予測したが、それを大きく上回ることが分かった。25日、ルワンダ経済アップデート報告書の発表イベントにおいて、世銀の西内エコノミストは、ルワンダの2014年の経済成長率は7.1%であると述べた。2014年の経済回復の主要因は、穀物収穫が好調だったこと、政府の歳出がサービスセクターの成長を促したことである。世銀は2014年の好調な経済成長を考慮し、2015年の成長率予測を6.6%から7.5%へと修正した。また、トーク当地世銀代表は、原油価格の下落は、低インフレ、為替レートの安定、国際収支に好影響をもたらすことが予測されるため、2015年のポテンシャル成長率は7.8%であると述べた。ルワンダ国家統計局(NISR)は、来月に2014年の経済成長率を発表する。(26日)